

情報公開文書

研究課題名	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に脳卒中を発症した患者の臨床的特徴を明らかにする研究—今後拡大が予測される COVID-19 への対策の模索—
研究体制	■他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： 日本医科大学付属病院)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>日本医科大学付属病院</u> <u>脳神経内科 教授</u> 氏名 <u>木村 和美</u> 当 院 所属 <u>医療社会事業部</u> 氏名 <u>矢彦沢 裕之</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ~ 2021年 5月
研究の概要	(研究の意義・目的) 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症 (COVID-19) の拡大は、勢いを増し、国民の健康、経済、医療に甚大な影響を与えています。我が国の未曾有の国難と言っても過言ではないとも言えます。COVID-19 の重症患者は、高齢、男性、高血圧、糖尿病、腎機能障害、心臓病を有することがリスクだと言われていますが、脳卒中と COVID-19 の関連は限られた報告しかないのが現状です。この研究では COVID-19 陽性例の脳卒中患者の臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。 (研究方法) 以下の試料・情報を収集し、試用いたします。
試料・情報	(試料・情報の項目) 年齢、性別、血圧値、内服歴、脳卒中の治療経過、採血結果、画像所見、転帰等
研究対象者	2020年6月1日から2021年5月31日までに当院にて、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に脳卒中を発症し、入院加療を受けられた患者さん。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>医療社会事業部</u> 氏名 <u>矢彦沢 裕之</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439